

活動事例

産業界支援

支援先

茨城マグネシウム工業会

第 4 回国際マグネシウム展
in 東京ビッグサイト 2012

【内 容】

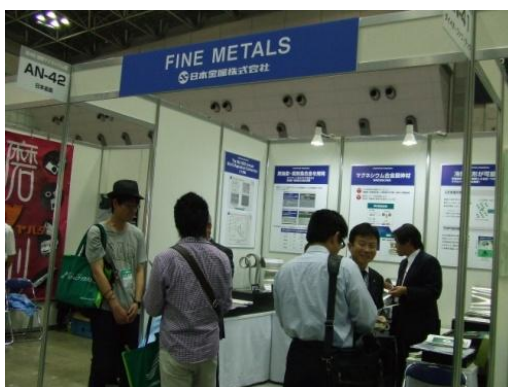
図 1 マグネシウム製スピーカー
や自動車ホイールの展示

図 2 新開発合金の展示

先端材料部門は、茨城マグネシウムプロジェクト事業化支援事業から平成 19 年に設立された茨城マグネシウム工業会や、マグネシウム関連企業を支援しています。

茨城マグネシウム工業会の主催事業である「国際マグネシウム展」は環境にやさしいマグネシウムの普及と、マグネシウム製品・技術の PR を目的に平成 20 年から開催しています。

18 の企業・機関が出展した第 4 回となる今回は、東京ビッグサイトにおいて 3 日間開催し、来場者は同時開催の次世代自動車産業展等を含め 44,000 人を超えました。

表 1 第 4 回国際マグネシウム展の概要

開催期間	2012 年 5 月 30 日～6 月 1 日
開催地	東京ビッグサイト
主 催	茨城マグネシウム工業会
出展数	18 社の企業・団体
来場者	44,049 名（3 日間）

展示ブースでは、ボーリングバースリーブやスプレーガン、高性能スピーカー等、軽量性や振動吸収性などマグネシウム合金の特徴を生かした製品のほか、材料供給メーカーによる新開発の高強度高耐食性合金板や幅広圧延合金板など新たな材料の展示を行いました。来場者の大手自動車メーカーや電機メーカーの方々から質問や試作の引き合いが寄せられました。また、先端材料部門では、マグネシウム合金の摩擦攪拌接合に関する研究成果等を紹介しました。

平成 25 年度も東京ビッグサイトにて第 5 回国際マグネシウム展を開催する予定であり、さらに大きな成果が期待されます。

【マグネシウムの産業動向】

最近、マグネシウムの産業利用が活発化しています。米大手自動車メーカーのゼネラルモーターズではマグネシウム合金を構造材としては初めて自動車に、電機メーカーの NEC が純マグネシウムよりも軽量のマグネシウムリチウム合金をノートパソコンにそれぞれ採用するなど、これまでにない軽量化を実現しています。

さらに、韓国の材料メーカーのポスコが年 10 万トンの生産能力を誇るマグネシウムの精錬工場を稼働したことにより、材料の安定供給が図られ、さらなる産業利用が期待されています。

軽量材料として注目されているマグネシウムに関心のある方は下記までご連絡ください。

基礎となった事業

平成 17～20 年度 茨城マグネシウムプロジェクト事業化支援事業

現在の担当部門

先端材料部門

部 門 長

齋藤 和哉

TEL:029-293-7492

主 任

行武 栄太郎

技 師

早乙女秀丸

技 師

上田 聖

技 師

石川 裕理